

在学生の皆さま
保護者の皆さまへ

大阪モデルでの「赤信号」点灯に対する対応について

大阪府では、4月に入り、新型コロナウイルスの変異株のまん延とともに、新規感染者数が増加の一途をたどり、過去最多を記録する日々が続いております。また、4月7日には、重症病床使用率が危機的状況にあることから、「医療非常事態宣言」が発出され、大阪モデルでの「赤信号」点灯となりました。これらの状況をうけ、本学では、「緊急対策本部会議」を開き、大阪府におけるこの感染状況下での今後の対応について検討を行った結果、苦渋の選択として、4月12日（月）からの1週間は、一部の授業を除き原則休講にし、その間最善の授業実施に向けて準備することといたしました。今年度は、できる限りの感染拡大防止策を講じることで、ほぼ通常通りに対面授業を実施することといたしておりましたが、大阪府の現況に鑑み、学生、教職員の安全を第一義と考えての措置として、ご理解を賜りますようよろしくお願いいたします。

なお、今後の授業等の実施についての詳細は、教務委員会での決定をうけて、追って学生、各関係者に周知することといたします。

大阪府域全域における不要不急の外出・移動の自粛が呼びかけられています。「當相敬愛」の精神を忘れず、ひとりひとりの感染症対策、ひとりひとりの節度ある行動が、感染拡大を防ぎ、大切な人の命を守ることにつながります。この状況の中でも、一相愛人として、各自が高い意識をもって行動することを切に望みます。

保護者の皆さまにおかれましては、状況をご理解の上ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

令和3年4月8日

相愛大学
学長 金 児 暁 嗣